

本学卒業生（2021 年－2023 年 3 月卒業）の キャリア形成の状況に関する調査

2024 年 1 月

大阪歯科大学医療保健学部キャリア支援委員会

はじめに

大阪歯科大学医療保健学部は2017年4月の開設以来、これまで206名の卒業生を送り出してまいりました。今年4月には第8期生を迎えます。来たるべき2040年に向け、将来の歯科業界を牽引する人材の育成を目指して日々教育を行っています。

医療保健学部キャリアセンターでは、学生が自分自身のキャリア形成に真摯に向き合い、自律的に人生を歩めるよう、これまでにさまざまな事業を展開してまいりました。

当センター開設からのキャリア教育およびキャリア支援について検証し、今後の改善に活かしていくために、第3期生が社会に出て半年になる昨年10月に、卒業生の勤務状況やキャリア形成の状況に関する調査を実施いたしました。国内の大学が共通して抱えている問題として卒業生の現況の把握がありますが、本学も同様の問題に直面し、今回の調査の卒業生の回答率が非常に低いものになりました。一方、卒業生の就職先である事業所からは多数の貴重なご意見を賜りました。ここにご協力いただきました事業所のみなさまに深く御礼を申し上げるとともに、足元の卒業生の意見を十分に反映できなかったことを深くお詫び申し上げます。

卒業生の増加に伴い、今回の調査から、事業所のみなさまには社会人基礎力について新卒者（2023年3月卒業）のみに絞り、ご回答をいただきました。新卒者はまさにコロナ禍で学生時代を過ごしましたが、その影響がみなさまからいただいたご意見に如実に反映されていることを目の当たりにし、愕然といたしました。いただきました貴重なご意見をもとに、今後本学の卒業生が歯科医療業界の中心的存在になるべく、キャリア教育およびキャリア支援を精力的に進めてまいり所存です。

末筆ですが、今回大変お忙しい中率直な、かつ価値あるご意見を賜りました事業所のみなさまに、衷心より御礼を申し上げます。

2024年1月

大阪歯科大学医療保健学部キャリアセンター

調査概要

1. 調査の目的

2017 年の本学部開設以後 6 年間のキャリア教育およびキャリア支援について検証し、改善に活かしていくために、2021 年-2023 年 3 月に本学部を卒業した第 1-3 期生、また卒業生の就職先を対象に、卒業生の現在の勤務状況やキャリア形成の状況に関する調査を実施した。

2. 調査対象者および調査対象事業所数、回答者数および回答事業所数

<卒業生>

- ・対象者：2021 年-2023 年 3 月に本学部を卒業した第 1 期生 46 名、第 2 期生 75 名、第 3 期生 85 名、計 206 名のうち、キャリアセンターに卒業生登録を行っている 72 名
- ・回答者：第 1 期生 14 名、第 2 期生 7 名、第 3 期生 7 名、計 28 名（回答率 38.9%）

<就職先>

- ・対象事業所：2021 年-2023 年 3 月に本学部の卒業生が就職した 124 か所（2023 年 9 月 30 日までに退職が確認された事業所を除く）
- ・回答事業所：75 事業所（108 名分）（回答率 60.5%）

3. 調査時期

2023 年 10 月 1 日から 2023 年 11 月 30 日まで

4. 調査方法

インターネット上の調査フォームへの入力および送信（Google Forms）

今年度から、社会人基礎力について、事業所には新卒入職者（2023 年 3 月卒業生）に限定して回答を依頼した。

5. 回答があった卒業生の勤務先内訳および回答をいただいた事業所の内訳

<卒業生>

- ・病院：13 事業所
- ・歯科診療所：10 事業所
- ・民間企業：6 事業所
- ・就職活動中：1 名
- ・不明：1 名

＜就職先＞

- ・ 病院：20 事業所
- ・ 歯科診療所：44 事業所
- ・ 民間企業：10 事業所
- ・ 自治体：1 自治体

6. 在職者、休職者、退職者数および退職理由（2021-2023 年 3 月卒業生全体）

調査にご協力いただいた 75 事業所においては、108 名が在職、1 名が休職、3 名が退職していた。内訳を下記の表に示す。

	①2021年 4月	②2022年 4月	③2023年 4月	④2021年4月、 2022年4月	⑤2022年4月、 2023年4月	⑥2021年4月、 2022年4月、 2023年4月	⑦上記以外（年度 の途中で入職してい る場合）	⑧2023年4月、上記 以外（年度の途中で 入職している場合）
回答数	10	16	34	2	5	4	3	1

卒業生からの回答では、新卒で入職した事業所に在職していた者が 23 名（うち休職中 0 名、退職予定 1 名）、新卒で入職した事業所を退職し、新たな事業所で勤務している者が 5 名であった。

卒業生が回答した退職理由としては、体調不良（2 名）、勤務条件や勤務時間への不満（2 名）、他にやりたいことがあった（1 名）、院長と合わなかった（1 名）が挙げられた。

7. 勤務先の満足度および問題点（2021-2023 年 3 月卒業生全体）

	全体	2021年卒	2022年卒	2023年卒
不満	2	2	0	0
やや不満	6	4	1	1
少し満足	7	5	1	1
満足	13	3	5	5

28 名中「満足」が 13 名、「少し満足」が 7 名と半数以上を占めたものの、「やや不満」が 6 名、不満が 2 名存在した。

「不満」および「やや不満」の理由として（複数回答）、人間関係（5 名）、賃金（5 名）、休日・休暇（2 名）、職務内容（1 名）、今後の方向性がわからない（1 名）が挙げられた。

8. 卒業生の勤務態度（事業所）

回答があった事業所での対象者 109 名中、「1. よい」が 88 名、「2. ふつう」が 18 名、「3. よくない」が 3 名であった。

「3. よくない」理由として、礼儀や社会人としてのマナー（3 名）、コミュニケーション（3 名）、仕事への積極性（3 名）が挙げられた。

9. 社会人基礎力

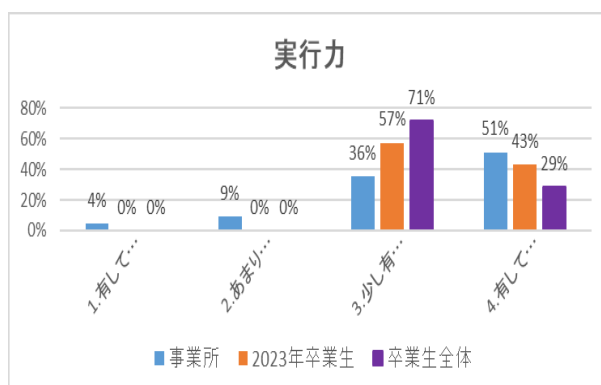
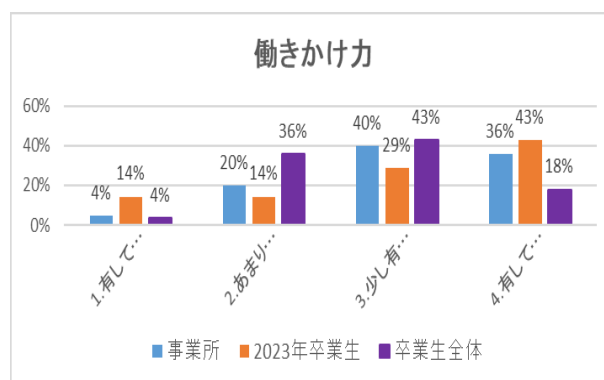
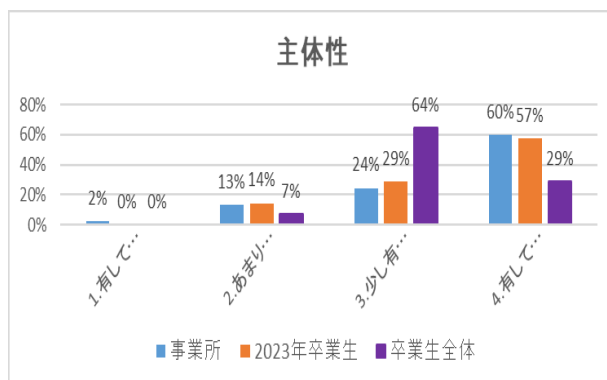
卒業生の人数の増加に伴い、今回から事業所には新卒入職者（2023 年 3 月卒業生）に限定して社会人基礎力に関する回答を依頼した。そのため、事業所については 2023 年 3 月卒業生に関する回答結果を示す。

卒業生については、2023 年 3 月卒業生のみの回答（橙）、卒業生全体の回答（紫）の 2 つに分けて結果を示す。卒業生については回答者数が少ないため、百分率の数値が大きくなってしまい、単純比較が難しい点を最初に断っておく。

a. 前に踏み出す力（アクション）

2023 年卒業生（橙）については、「物事に進んで取り組む力（主体性）」を「4. 有している」と回答した者が 57%、「目的を設定して確実に行動したりする力（実行力）」を「4. 有している」と回答した者が 43%であった。一方、卒業生全体（紫）では 3 項目とも「3. 少し有している」と回答した者が最多であった。昨年度の調査と同様に、「他人に働きかけて巻き込む力（働きかけ力）」については、「2. あまり有していない」と回答した卒業生が約 40%存在した。

2023 年 3 月卒業生に対する事業所（青）の回答については、昨年度の調査と同様に、「物事に進んで取り組む力（主体性）」を卒業生が「4. 有している」、または「3. 少し有している」と回答した事業所、また「目的を設定して確実に行動したりする力（実行力）」を「4. 有している」、または「3. 少し有している」と回答した事業所が約 90%であった。「他人に働きかけて巻き込む力（働きかけ力）」については、20%の事業所が「2. あまり有していない」と回答した。



事業所：青

2023 年卒業生：橙

卒業生全体：紫

1. 有していない

2. あまり有していない

3. 少し有している

4. 有している

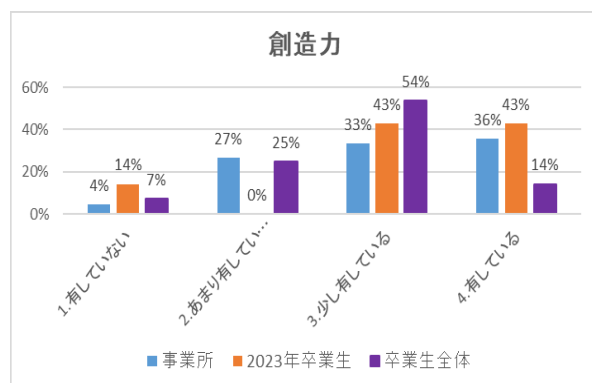
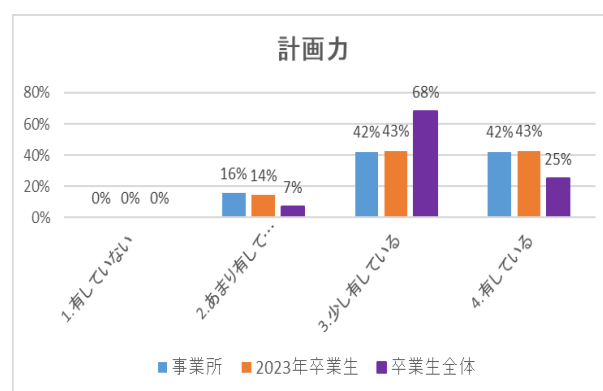
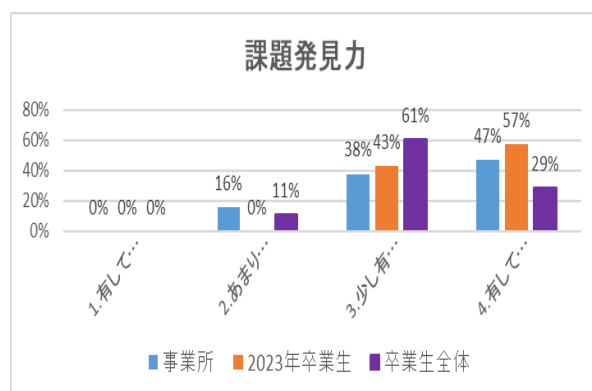
b. 考え抜く力（シンキング）

2023 年卒業生（橙）については、「現状を分析し目的や課題を明らかにする力（課題発見力）」、「課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力（計画力）」を「4. 有している」、または「3. 少し有している」と回答した者が 80%以上であった。一方、「新しい価値を生み出す力（創造力）」については、「1. 全く有していない」と回答した者がいたものの、「2. あまり有していない」と回答した者はいなかった。

卒業生全体（紫）では、3 つの力とも「3. 少し有している」と回答した者が 50%以上であったが、「新しい価値を生み出す力（創造力）」については「2. あまり有していない」と回答した者は 25%、「1. 全く有していない」と回答した者は 7%を示した。

事業所（青）については、「現状を分析し目的や課題を明らかにする力（課題発見力）」、「課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力（計画力）」を「4. 有している」、または「3. 少し有している」と回答した事業所が 80%以上を占め、昨年度の調査とほぼ同様の傾向を示した。また、これら 2 つの力ともに「1. 全く有していない」と回答した事業所はなかった。

一方、「新しい価値を生み出す力（創造力）」については、「4. 有している」、または「3. 少し有している」と回答した事業所は 69%であったものの、「2. あまり有していない」と回答した事業所は 27%、「1. 全く有していない」と回答した事業所は 4%を示した。



事業所：青

2023 年卒業生：橙

卒業生全体：紫

1. 有していない

2. あまり有していない

3. 少し有している

4. 有している

c. チームで働く力（チームワーク）

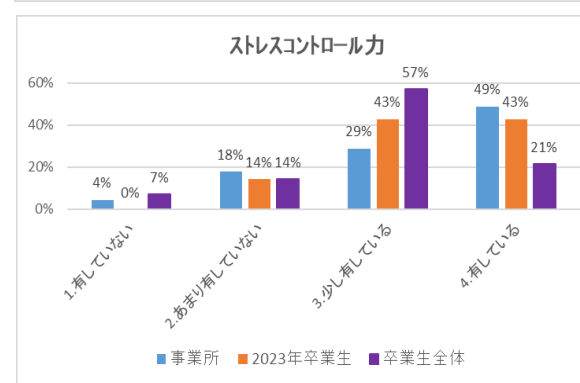
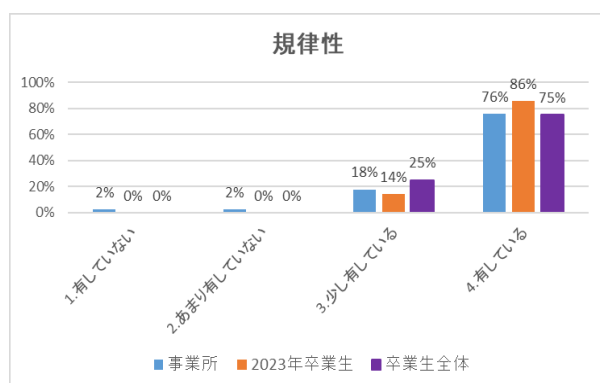
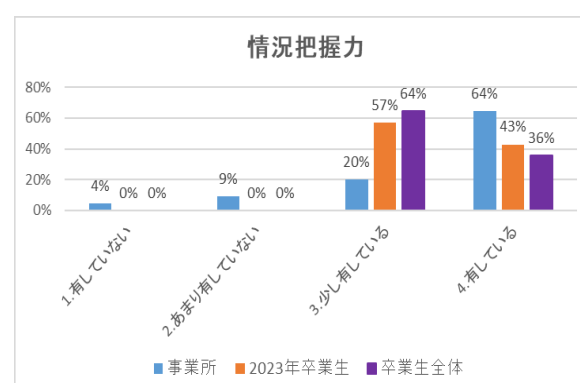
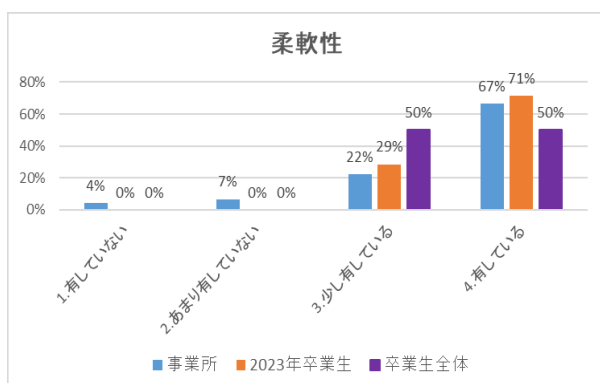
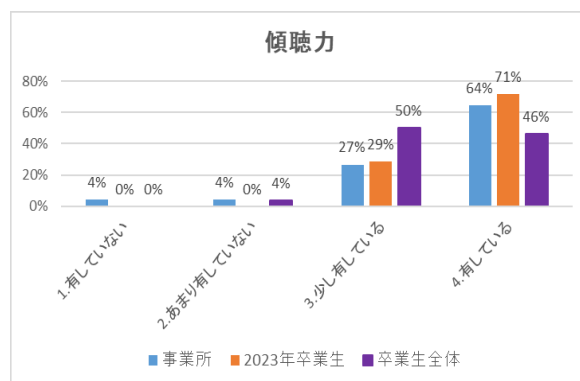
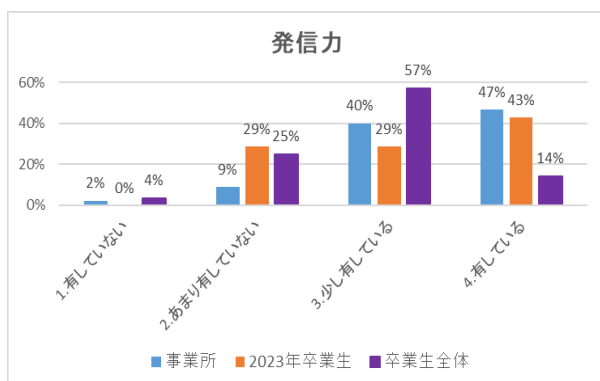
2023 年卒業生（橙）については、「自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力（状況把握力）」では「3. 少し有している」と回答した者が 57%、また、「ストレスの発生源に対応する力（ストレスコントロール力）」について、「4. 有している」および「3. 少し有している」と回答した者が 43%で最多であった。

他の 4 つの力では、いずれも「4. 有している」と回答した者が最多であったものの、「自分の意見をわかりやすく伝える力（発信力）」について、「2. あまり有していない」と回答した者は 29%存在した。また、「ストレスの発生源に対応する力（ストレスコントロール力）」について、「2. あまり有していない」と回答した卒業生が 14%存在した。

卒業生全体（紫）では、「社会のルールや人との約束を守る力（規律性）」について、「4. 有している」と回答した卒業生が最多であった。「意見の違いや立場の違いを理解する力（柔軟性）」は、「4. 有している」と「3. 少し有している」と回答した卒業生が 50%ずつ存在した。他の 4 つの力では、全て「3. 少し有している」と回答した者が最多であった。

一方、「自分の意見をわかりやすく伝える力（発信力）」について、「2. あまり有していない」と回答した者が 25%、「1. 全く有していない」と回答した者が 4%存在した。また、「ストレスの発生源に対応する力（ストレスコントロール力）」について、「2. あまり有していない」と回答した卒業生が 14%、「1. 全く有していない」と回答した者が 7%存在した。

事業所（青）では、6 つの力ともに「4. 有している」と回答した事業所が最多であったが、「自分の意見をわかりやすく伝える力（発信力）」については、「2. あまり有していない」と回答した事業所が 9%、「1. 全く有していない」と回答した事業所が 2%存在した。「相手の意見を丁寧に聴く力（傾聴力）」については、「2. あまり有していない」および「1. 全く有していない」と回答した事業所が 4%存在した。「意見の違いや立場の違いを理解する力（柔軟性）」については、「2. あまり有していない」と回答した事業所が 7%、「1. 全く有していない」と回答した事業所が 4%存在した。「自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力（状況把握力）」では、「2. あまり有していない」と回答した事業所が 9%、「1. 全く有していない」と回答した事業所が 4%存在した。「ストレスの発生源に対応する力（ストレスコントロール力）」については、「2. あまり有していない」と回答した事業所が 18%、「1. 全く有していない」と回答した事業所が 4%存在した。



事業所：青
 2023 年卒業生：橙
 卒業生全体：紫

1. 有していない
 2. あまり有していない
 3. 少し有している
 4. 有している

10. 本学在学中にあればよかったと思う教育（卒業生、人名以外原文ママ）

- ・ 全身疾患と歯科の繋がりについて深く学びたかったです。
- ・ 技工士と衛生士相互実習

衛生士がファントムで印象を取って、技工士がその印象に模型を流して補綴物を作製する。

作製したものをファントムに戻し、セットできるか確認する。

衛生士は変形の少ない印象を取るためにはどうするかを考察しながら印象採得を行い、技工士は模型上とファントム上のコンタクトや適合の違いを理解することを目的に行う。

実際に診療所では印象の取り扱いが雑なことが多い。（休憩時間に石膏を流したりなど）実際に私の勤務先でもそのことが原因で再製も多くどの立場の職種や患者様にはデメリットしかない。このようなことを未然に防ぐと意味でも、学生のうちに知っておくのは大事だと感じました。

あとは衛生士さんはデンチャーの外形印象はどこが取れたほうが良いのかは理解している衛生士さんは少ないので理解して印象採得できた方がいいと思う。

- ・ 口腔外科系の技工物をもっと知りたかった
- ・ 逆に在学中に教えていただいたことが生きることが多いです。ありがとうございました。
- ・ スケーリング補助なしでの実習、石膏流す練習を増やして欲しい
- ・ 歯科とは関係ないのですが、ビジネスマナーについて学んでおけばよかったと思うことは多々ありました。

11. ≪2021年4月・2022年4月・2023年4月・中途入職者について≫お気づきの点や様子をお聞かせください。（事業所、原文ママ）

- ・ 非常に意欲的で、積極的に歯科衛生士の業務をこなしてくれています。
- ・ 「元気にやっています。」
- ・ 積極性はあまり感じない
- ・ 特になし
- ・ 真面目に取り組んでいるのは良い所です。コミュニケーションをもっととれると、なおよいと思います。
- ・ とても良い学生さんだと思います
- ・ さらに一年経過しました。意欲的で俯瞰して周りの状況を見れる素養があり、助け合いの精神で周りからの信頼も厚いです。
- ・ 真面目で丁寧に仕事をこなしています。前向きに次の習得に向けて練習をしています。
- ・ 真面目に頑張ってくれています。

- ・練習や患者様への施術は積極性があり、楽しんで行っているが協調性に少し欠けるところがある。
- ・労働者の権利、金銭的要求、福利厚生を要求してくる
- ・患者様との接し方を含めすごく丁寧です。真面目で、すごく頑張っています。
- ・全員が仕事に対して前向きな気持ちで真摯に取り組んでいると思います。まだキャリアも浅く若いので、本人の資質や能力はこれから徐々に発揮されていくと思います。
- ・歯周基本治療をはじめ、歯科衛生士としての業務に積極的に勢力的に取り組んでくれています。院内勉強会での発表スライドも非常によくまとまっていて、分かりやすい発表をしてくれています。今後もますます成長してくれることを期待しています。
- ・よく頑張ってくれています。
- ・入職する際に院内にマニュアルがあるか否かを気にしていた。
- ・積極的に取り組んでいる
- ・すべてにおいて満足しています。
- ・医院の要となり活躍してくださっており、御校の教育に深く感謝申し上げます。3名とも個性がありますが、それぞれの長所を活かして活躍してくださっています。次年度に向けては特に2022年度入社のスタッフには、技術面だけではなく、上席の立場にたてるよう、ステップアップをサポートしていきたいと存じます。
- ・プレゼン能力が高く、院内教育資料作成や書類の作成など上手い。またそういった情報処理能力が高い。
- ・ハキハキと受け答えが出来、不明な点などがある場合には確認をしてくれるため、理解度を把握することが出来、作業指示が行い易いです。
- ・マイペースながら着実に仕事を覚え、実直に業務に励んでくれている点を高く評価しています。
- ・ドクターの支持をよく聞いて患者様に対してしっかり対応できています。
- ・歯科衛生士になるためになぜ大学を選択したのか…などについて以前聞いたとき、『〇〇がしたかったから』『〇〇を学べと思ったから』と明確に答えられます。その目的意識の高さは、診療以外でも能力を発揮してくれとても頼もしい存在です。例えば、採用活動をしてみたい、社内イベントである富士登山に挑戦したい、もっと物販を上手く売りたい等です。2022年4月卒の〇〇に関しては、歯科衛生士としてどの分野が秀でて（向いて）いるかを現在も探すために、一般診療だけでなく小児矯正を学ぶなど意欲的です。今後も、就職先である我々一般歯科医院が、歯科衛生士のキャリアを幅広く実現させてあげられるように今後も努めていきたいと思っています。
- ・他衛生士よりも理解力があり、今後の成長に期待が持てます。

- ・とても意欲的に働いてくださっています。
- ・大阪歯科大学の卒業生は、本当にいい子ばかりです。うちに就職してくれた子は、未だに続いており、日本歯周病学会認定衛生士を目指して日々研鑽しています。彼女たちの頑張りに後押しされ、他のスタッフも頑張ろうと思っている子が多く、スタッフをはじめ貴校への信頼もとても厚いです。
- ・大変良く働く方です
- ・現在は常勤一人の職場になってしまっておりますが、加算や歯科往診対応はもちろん、病棟患者様の口腔管理までしっかり対応頂いております。
- ・良い人材が採用できました。もうメンテナンスもできますし、アシスト業務も問題ありません。頑張り屋で、大変優秀です。
- ・とくになし
- ・素直になんでも一生懸命にやろうとする態度が見られます。
- ・7名の方は各部門に慣れて活躍されています。特に第一期生の3名は3年目に入り各部門で重要なポジションになりつつあります。
- ・中途入職者です。やや精神的に打たれ弱いところがあります。しかし、患者さんへの対応や言葉遣いも丁寧であり、患者さんとの信頼関係が形成されたら、彼女も安心して歯科予防処置に向き合えています。
- ・時代と言われたらそれまでですが、社会人としての常識の差が大きく、コミュニケーションの取り方に難があります。彼女自身も学生から社会人になった自覚もなかったので、今回学会を通してやっとモチベーションが上がってきた様子です。
- ・何にでも意欲的に取り組む姿勢があり、真面目である。診療の内容をよく理解しており無駄がない。
- ・入社当初は学生気分が抜けないままの研修期間でしたが、衛生士として実技や講義に対しての学ぶ姿勢がよくなってきていると感じています。
- ・技術の習得を身につけようとする思いはあるが、行動に移せてない、自ら行動に移さない

12. 本学卒業生および本学の教育に対して望むこと（事業所、原文ママ）

<卒業生に対して望むこと>

- ・個人差はありますが、協調性自己肯定感
- ・社会性を身に着けたうえでの専門性
- ・他校に比べて即戦力になれる
- ・自主性
- ・ポジティブな考え
- ・積極的に取り組む姿勢の構築
- ・継続力

- ・積極性と社会性、コミュニケーション能力
- ・教えてもらえる先輩にもっと素直になり、人間関係を良好に保つ事をもう少しだけ考えればなお良いと思います。
- ・まずは、歯科衛生士として患者さんの前では笑顔で接すること。若年者は、まず先輩から教えてもらうのに、下働きなどして、可愛がってもらって、自分が教えてもらうように、態度で示さないと、スキルは身に付かない。条件を言うのは、できるようになってからだと思う。
- ・世代や立場が違う相手ときちんと会話が出来るように、学生時代からコミュニケーションを磨く場面を持つよう心がけて過ごして欲しいです。
- ・大卒のキャリアを活かした成長（指導者などへ）を期待しています。
- ・与えられた課題に取り組むだけでなく、自ら疑問に思ったことを解決したり、自ら仕事を見つけて取り組む姿勢を身につけて卒業して欲しい。
- ・特にありません。
- ・よく教育された衛生士さんで助かっています。
- ・人と人が接するにあたって、適度な敬意を持って接せられる道徳を有している
- ・同期2名の新卒者が居るので、楽しく仕事しながら、お互いに成長してくれたらと思います
- ・長期勤務
- ・自己研鑽を積み、真面目にスキルアップをしていく姿勢
- ・ずっと存続して医院にいてくれることを望みます。
- ・主体性をもち、生涯 DH として活躍できるようなスキルの習得や、社会人マインド、技能の獲得に努めること
- ・学生の間は自分がどう輝くかという視点で生活してきたかと思うが、社会に出たら患者さんや勤め先をいかに輝かせるかという視点も持って欲しい。
- ・技工の知識のみではなく、社会人としてのマナーやコミュニケーション能力を有することを期待いたします。
- ・これからも変わらず業務に励んでほしいと考えています。
- ・自分からあいさつし、素直に返事のできる人
- ・特にございません。
- ・TBI や MFT などの对患者への実践力をさらに上げてもらえたら尚良いです
- ・特にありません。
- ・できれば外部セミナーに積極的に参加して欲しい
- ・特にありません。それぐらい素晴らしい方々ばかりです。
- ・大学を卒業されているのですから、医院への提案とかをもっとされるべきと思っています。その際の注意すべき点は、医院を批判するのではなく、よりスタッフの皆さんが仕事をやり易くする為の方法を考えたり、患者さんの診療前、会計待

ち時間を短くする為のシステムを考えるなどが有ると思います。常に今よりももっと向上していこうという向上心を持って頂きたいです。

- ・実際に衛生士として働く第一歩なので技術や患者へのコミュニケーションスキルは働いてからつくものだと思っています。ただ社会人としての常識、接遇は身につけておいてほしいです。職場の人間への挨拶、上司に対しての言葉遣い、体調不良で休む際の対応、など基本的なところは指導願いたいです。
- ・自発性

<教育に対して望むこと>

- ・専門知識だけではない人間教育
- ・いつも教育ありがとうございます。歯科技工の地位向上や社会的意義を学生時代からお伝えいただけると助かります。歯科医療の下請けではなく医院と同等の存在であることを意識していただきたい。
- ・今後は歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士が平等に診断や治療計画に参加できるスキルが必要となると思います。歯科医師に気を遣いながら、自分の意見や提案ができる教育、どうでしょうか？
- ・社会に出て働くこと、目上の人に対して、患者様に対して、そして教えを乞う立場としての心構え。医療従事者としての心構え。誰かの為に働くという事。
- ・まだ卒年数が浅いので不確定な面もありますが、より積極的な姿勢・自己表現をしてくれた方が、より能力が発揮できるのではないかと考えています。
- ・技術よりも考え方や、前向きな姿勢を有していることが大切だということ。
- ・アシスタントワークの充実、備品や材料の取り扱い、実技の充実
- ・多職種連携におけるコミュニケーション能力
- ・より多くの衛生士さんを輩出させてください。
- ・個人の能力開発も大事ですが社会人として協調性が重要であるとの教育をもっとしていただければ良いかと思っています。
- ・医療人として、患者さんが幸せになることで、報酬を得ている。医療人は、金を稼ぐのが目的ではなく、患者を幸せにしたら、報酬も増えるし、自分もやりがいがある、楽しくなる事を知ってもらいたい。条件だけでは、ずっともっとよい条件の職場があるのではないかと、仕事の本質がわからないまま、彷徨い、スキルも身に付かず、結局なにも出来ない人間になる。
- ・歯科知識や技術の先にある大切なものを意識できるような講義や実習を期待したいです。
- ・本学卒業生に対して望むことに書いたことが実践できる学生を育てて欲しい。
- ・ODU トライアルワークや学内説明会のご案内をいただいています。いつも有難く思っています。御校だけでなく、学生時代に企業を知る機会、自身の職業観を考

える機会はなかなかありませんが、インターンシップや働いている卒業生の姿を見て感じてもらうことは大いにあると思っています。夏休みなどを利用しての職業体験や見学など、是非技工所にも足を運んでいただけますと幸いです。

- ・ PDCA サイクルを考えるような教育をしていただければ問題提起から解決に至るまでの思考回路と習慣が身につくかと思います。P が大切ですが他人任せになるところがあるので、教育現場でトレーニングを積んでももらいたい。
- ・ 患者さんへの気持ちの寄り添い方や、口腔内の優しく丁寧な触り方への意識を高くもつ
- ・ 特にございません。
- ・ 2 名とも社会人能力が高い方なので、満足しております。引き続き社会人になった後の教育も力を入れていただけますと幸いです。
- ・ 基本的な臨床知識
- ・ 満足しているので今のカリキュラムでいいと思います。
- ・ 卒業生の皆さんが PC を使うことができず、技能講座を行っています。多くの医院はあらゆる場面でデジタル化しているかと存じますので、可能であれば校内の提出物などを通じて、最低限の PC の取り扱いを理解しておいて頂けると、社会人になってからの困りごとが減るのではないかな、と思いました。
- ・ 歯科衛生士を一生の仕事として継続できるようなビジョンを学生のうちから見せてあげて欲しい。また、決まった形式が無いものの業務記録にはどんなことを書けばよいか、実地指導には最低限どんなことを書くか、他にも歯科衛生士が関わる書類作成については教育しておいて欲しい。
- ・ 4 年制を活かした充実したプログラムが組まれていると存じますので、特に要望はございません。
- ・ 素晴らしい技工士を送り出してくださった貴学に改めて御礼申し上げます。
- ・ 自分からあいさつし、素直に返事のできる人の育成
- ・ 特にございません。
- ・ TBI や MFT などの对患者への実践力をさらに上げてもらえたら尚良いです
- ・ 特にありません。
- ・ 個人歯科医院への臨床実習をされるべきと考えます。
- ・ 接遇
- ・ 受け身ではなく積極性のある社会人 1 年目を迎えられる学生生活を送っていただけると嬉しいです。
- ・ 自発性と協調性

総括

- ・今回は卒業生の回答率が非常に低かった。キャリアセンターに卒業生登録をしている者が卒業生の約3分の1であり、さらに回答者がその3分の1であることを鑑みるに、在学時からのキャリアセンターの存在意義を示す必要がある。学内のみならず業界に向けたデータ活用の点からも、回答率の底上げについて真剣に検討したい。
- ・昨年度の調査同様、卒業生の自己評価が全体的にやや低い傾向がみられた。
- ・本学卒業生は、何か課題等を与えられるとその処理や解決に向けて動こうとする姿がみられた。しかし、自ら課題を発見すること、問題点は何かを考えること、そのためにどうすればよいかを考えることは非常に弱く、それらが社会人になってからの成長の鈍さにつながっているのではないかと考えられる。
- ・コロナ禍での臨床実習の少なさが、少なからず臨床現場での卒業生の働きに影響していることが推察される。特に、患者さんやスタッフとコミュニケーションを取りながら協調して物事を進めることに如実にその影響が現れているのではないかと考えられる。コロナ禍が落ち着いてきたことから、協働することやコミュニケーションを図る機会を増やし、学生時代に身につけていく必要がある。
- ・事業所が大学卒業者として本学卒業生に求めているのは、調査開始以降一貫して自ら考え、動き、発信すること、また課題を見つけ解決しようとしている点であることが明らかになった。これらを在学中から強化していく必要があることが示唆される。
- ・事業所では、調査開始以降変わらず在学中に臨床知識や臨床技能および技術をさらに身につけてから社会に送ることを期待しているところと、社会人としてのコミュニケーション力、将来へのビジョン、管理能力等を身につけてから社会に送り出すことを期待しているところがあることが明らかになった。しかし、今回の調査では例年以上に歯科診療所からご意見を多くいただき、礼儀やマナー、コミュニケーションなどを指摘された事業所が多かった。この点を重く受け止め、社会人基礎力を身につけるうえでの基礎となると考えられる礼儀やマナー、コミュニケーションについて、キャリアセミナーなどで今まで以上に積極的に取り入れていくことを検討したい。
- ・学生の就職に対する考えを聞いてみると、歯科業界の人材不足による給料の高騰も影響しているのか、安直に進路選択を行おうとする者が増加しているように感じられる。その姿勢が社会人になってからも継続していることが、今回の調査結果として現れたのではないかと考えられる。4年制大学卒業者としての社会に対する役割や責務など、また医療従事者としての使命などについて、さらに積極的に伝えていく必要があると考えられる。

以上